

家庭学習のすすめ

矢切小の子どもたちが、将来、社会に出て自立し、いきいきと活動するためには、子どもたちに「生きる力」をしっかりと育む必要があります。

「生きる力」とは・・・

徳・知・体のバランスのとれた力のことです。

子どもたちに、その「生きる力」を身に付けさせるためには、学校・地域・家庭との連携が大切になります。

ご家庭では、例えば、「同じ時刻に起きる・寝る」の習慣、「朝食をとる」「家族の一員としての手伝い」「ゲーム・テレビの約束」など。そして、『家庭学習の定着』です。

全国学力・学習状況調査で課題としてあげられているものは（千葉県の報告書より）以下の通りです。

- ①生活習慣（朝ごはんをとること）
- ②家で計画を立て学習（復習）をすること。
- ③失敗を恐れずに挑戦すること。

教科では

国語

・漢字、語彙力、敬語、ことわざ などの知識

→本校でも、課題です。

算数

・小数、分数の計算

→本校では、基礎となる計算力は高いです。が、応用問題（考える力に課題があります）

千葉県教育委員会ホームページに「家庭学習のすすめ」が掲載されています。矢切小でも、学年に応じて「家庭学習の手引き」を作成しましたので、ぜひ活用してみてください。

